

## シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」の契約締結について

2023年1月27日

大成建設株式会社

大成建設株式会社（社長：相川善郎、以下「当社」）は、株式会社みずほ銀行（頭取：加藤勝彦、以下「みずほ銀行」）をアレンジャーとするシンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」の契約を締結しました。

「Mizuho Eco Finance」は、脱炭素社会への移行に向けて融資先とともに脱炭素への取り組みを促進していくことを目的とした環境評価融資商品です。みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が開発した、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価等を組み入れた環境評価モデルを用いて、融資対象企業の取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たした企業に融資が行われます。

本件融資契約の締結にあたっては、当社が TCFD 提言に則った情報開示をしていること、「2019 年度比 2030 年度に CO<sub>2</sub> 排出量 40%削減」という CO<sub>2</sub> 排出削減目標を掲げていることなどが気候変動対応に資すると評価されました。

当社は「持続可能な環境配慮型社会の実現」を目指し、2021 年 2 月に「2050 年事業活動による CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロ」を表明しており、CO<sub>2</sub> 収支をマイナスにするコンクリート「T-eConcrete<sup>®</sup>/Carbon-Recycle」や外壁・窓で発電する外装システム「T-Green<sup>®</sup> Multi Solar」の開発・普及、建築物のライフサイクルにおける CO<sub>2</sub> 排出量を実質ゼロにするゼロカーボンビルの建設の推進など、さまざまな脱炭素化の取り組みを引き続き進めて参ります。